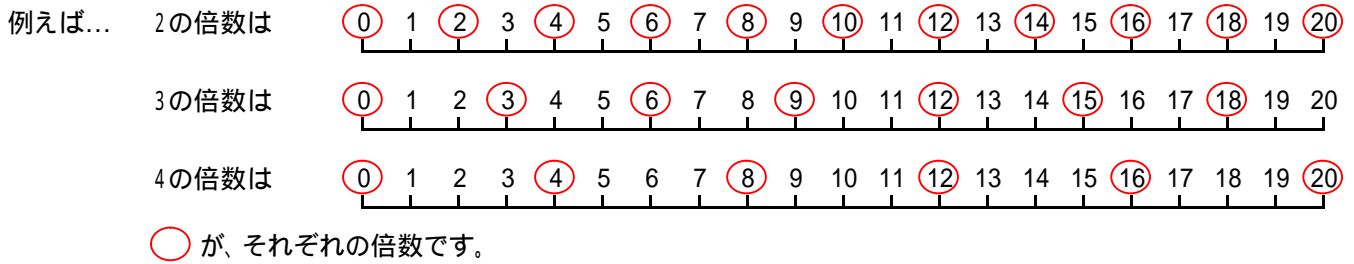


「公倍数・最小公倍数」を理解するページ

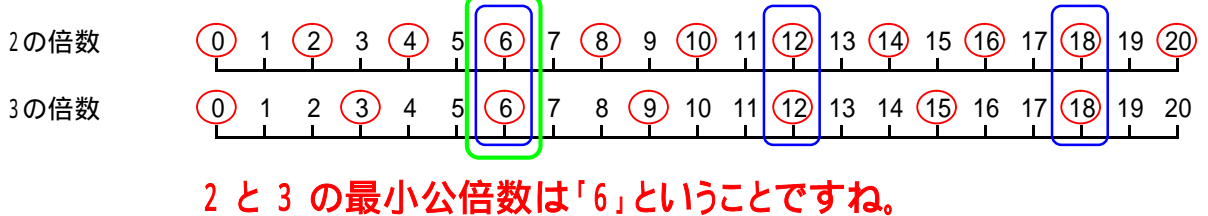
倍数...ある整数を整数倍してできる整数です



公倍数...いくつかの整数の共通な倍数です



最小公倍数とは...公倍数の中で最小のものをいいます



最小公倍数の求め方

例 . 4と6の場合

$$\begin{array}{r} 2 \overline{) 4, 6} \\ \underline{2} \\ 2 \end{array}$$

4と6をわることのできる数
この場合は「2」

2でわった時の「商」をかく

これ以上われないので、 $2 \times 2 \times 3 = 12$
よって、4と6の最小公倍数は12となる

例 . 6と16の場合

$$\begin{array}{r} 2 \overline{) 6, 16} \\ \underline{3, 8} \\ \end{array}$$

2でわったら6の商は3、
16の商は8ですね。

2でわった時の「商」をかく

これ以上われないので $2 \times 3 \times 8 = 48$
6と16の最小公倍数は48となる

例 . 12と18の場合

$$\begin{array}{r} 2 \overline{) 12, 18} \\ \underline{6, 9} \\ \\ \end{array}$$

2でわったら12の商は6、
18の商は9ですね。

さらに、3でわれるので...

これ以上われないので $2 \times 3 \times 2 \times 3 = 36$
12と18の最小公倍数は36となる

例 . 12と15と18の場合

$$\begin{array}{r} 3 \overline{) 12, 15, 18} \\ \underline{4, 5, 6} \\ \\ \end{array}$$

3でわったら12の商は4、
15の商は5、18の商は6ですね。
次の4, 5, 6は4と6だけ2でわれます。
5は2でわれないので、そのまま5を
下に書きます。

われないときは、そのまま下へ

これ以上われないので $3 \times 2 \times 2 \times 5 \times 3 = 180$
12と15と18の最小公倍数は180となる

例 . 8と20と30の場合

$$\begin{array}{r} 2 \overline{) 8, 20, 30} \\ \underline{4, 10, 15} \\ \\ \\ \end{array}$$

2でわったら8の商は4、20の商は10、
30の商は15ですね。
次の4, 10, 15は4と10だけ2でわれます。
15は2でわれないので、そのまま15を下に書きます。
次の2, 5, 15は5と15だけ5でわれます。
2は5でわれないので、そのまま2を下に書きます。

われないときは、そのまま下へ

これ以上われないので $2 \times 2 \times 5 \times 2 \times 1 \times 3 = 120$
8と20と30の最小公倍数は120となる